

# 子どもたちに 核兵器のない世界を

核兵器廃絶めざす  
全教メールニュース  
第28号 2010.3.21

## 全教大会以降 2万筆以上の署名が広がり、 核廃絶署名ついに 10万筆を突破

16日に行われた日本原水協の全国船積み送り出し集會に、全教は全国から送られてきた3万7千筆の署名を提出し、各地の原水協を通じて出された署名と合わせて、全教と教組共闘組織が集めた署名は10万筆を突破しました。送り出し集會は、共同通信が「署名は核保有国を含めすべての国の政府に、速やかに核兵器禁止・廃絶条約の交渉を開始し締結するよう呼びかけており、署名をNPT再検討会議に提出する」と配信し、全国の地方紙が報道しました。積み上げられた400万を超える署名用紙は、船便でニューヨークに送りだされました。到着予定は4月20日過ぎです。



全教は、この日までに目標の3割=10万5千筆を目標にとりくみを強めてきましたが、10万筆を超えもう一步まで迫りました。**愛知高教組**は、11人のNPT代表の會議を3回行い、支部での街頭宣伝や職場のとりのくみを強め、この1ヶ月間で3千筆以上の署名を広げてきました。3人の青年をNPTに派遣する**和歌山県教組**も2千5百筆以上を増やしています。**高知県教組と高教組**は、4人の代表派遣のカンパ活動として、「NPT再検討會議に代表を送りみなさんの署名を届けます」と書かれた豆菓子1300袋を組合員が意欲的に販売し、署名も倍増の勢いです。しっかりと機関會議で意思統一し職場組合員に方針が徹底されたところで、貴重な前進が始まっています。

これからの署名はNPTニューヨーク行動参加者が持つていきます  
代表派遣者に託してください。  
参加者がいない組織は、原則として  
県・地域原水協に提出します。  
全教本部に送る場合は4月27日  
必着です。(本部代表は28日出発)

## NPT代表、ピースチャレンジャーを先頭に 3/23~4/23 ラストスパート月間で目標を達成しよう

賃金確定闘争以後の3ヶ月余りのとりのくみで、全教・教組共闘は5万筆を広げてきましたが、目標の残り25万筆弱をさらに拡大するためには、これまで3カ月でやったことの5倍をこれからの1カ月でやらなければなりません。次の3つのとりのくみを呼びかけます。

NPT行動参加者は100筆以上に、ピースチャレンジャーは30筆以上に挑戦しよう。  
すべての組合員が、職場・地域で同僚や家族・知人・卒業生などに、もう一回り署名を広げよう。  
4月の6・9行動への参加、独自の一斉宣伝署名行動の計画など、全県的な山場をつくろう。

一人ひとりの署名が、国際政治を動かす、核保有大国に核兵器廃絶・禁止条約締結の交渉開始を迫る力になります。

今こそ、「子どもたちに核兵器のない世界を手渡す」教職員  
の想いを発揮する時!